

第5回 加賀市都市計画マスタープラン及び
立地適正化計画策定委員会

議事録

1. 日 時 令和5年3月8日(水) 10:00~11:00

2. 場 所 加賀市役所別館 302 会議室

3. 出席者 委員 10 名 (内代理 1 名)

(委員長) 高山 純一

(委員) 馬場先 恵子 ※委員長代理

原田 陽子

宮崎 信子

眞田 茂樹

高辻 利光

唐谷 好二

山畑 恵子

本田 芳宏 (代理 塩浦技術次長)

金子 直太

事務局 9 名

加賀市 建設部長

建設部 都市計画課

総務部 危機対策課

政策戦略部 スマートシティ課

政策戦略部 加賀ライズタウン推進本部

4. 次 第

1) 開会

2) 副市長挨拶

3) 議事

I. 都市計画マスタープラン

第4回委員会・地域別説明会・パブリックコメントの対応

II. 立地適正化計画

第4回委員会・関係機関・パブリックコメントの対応

4) 閉会

5. 傍聴者等 一般傍聴 なし

報道関係 3 社 (北國新聞、北陸中日新聞、加賀ケーブルテレビ)

6. 議事内容

<副市長挨拶>

- ・北陸新幹線加賀温泉駅の開業は来春と決まり、待ちわびた時が遂にやってきたと感じている。市の取組としては、先端技術の活用により、市民生活の質の向上やデータを最大限に活用したシステムを構築することで、スマートシティを目指した取組を進めている。
- ・昨年12月においては、リスクリング促進に向けて、市内産業団体や金融機関と連携協定を締結した。今後、市が一丸となってリスクリングによる人への投資を推進し、市内産業の成長につなげたいと考えている。
- ・本市では、挑戦可能性都市とのスローガンを掲げ、スマートシティ化に向けた様々な取組を進めることで、持続的に繁栄できる都市が築けると期待している。スマートシティ化を進める本市の取組と、都市計画マスタープラン・立地適正化計画を上手く噛み合わせることで、相乗効果を発揮し、持続可能な都市づくりができると考えている。このような点に留意して、ご議論いただきたい。

<高山委員長挨拶>

- ・北陸新幹線加賀温泉駅の開業により、東京方面の利用者だけでなく、市民にとっても便利になるだろう。北陸新幹線金沢開業の際は、多くの観光客やビジネス客が金沢に訪れたことで、経済が活性化し、まちに賑わいをもたらしていた。
- ・今後、加賀市の魅力を改めて見つめ直し、インバウンドも含めて加賀市に訪れたいくなるような取組が必要であるだろう。温泉や古い街並みなどが加賀市の魅力であると考えており、加賀市の魅力を押さえつつ、都市計画マスタープラン・立地適正化計画を整えることが重要である。

【説明】

1) 加賀市都市計画マスタープラン

第4回委員会・地域別説明会・パブリックコメントの対応

馬場先委員：市道C第268号線（松が丘地内）周辺の用途地域の指定状況について教えてほしい。

事務局：第1種住居地域及び近隣商業地域に指定しており、都市計画マスタープランとの整合は図られている。

2) 加賀市立地適正化計画

第4回委員会・関係機関・パブリックコメントの対応

馬場先委員：動橋地域について、浸水継続時間が24時間以上となる箇所を誘導区域から除外したことで、誘導区域の面積が大幅に減少しているが、人口に対する適切な誘導区域の面積を確保するために、他の箇所で誘導区域の拡大を検討した経緯はあるのか。

事務局：動橋駅北部には住宅団地があり、地域別説明会で誘導区域に指定してはどうかとご意見をいただいたが、動橋駅北部方面の改札口がないことから、生活利便施設である動橋駅から北部へのアクセスが困難であるため、誘導区域に指定しないこととした。今後、動橋駅北部方面に改札口を整備する場合、動橋駅北部を誘導区域に指定することは考えられる。

金子委員：デジタルツインやMaaSなどの専門用語が複数あり、市民にもわかりやすくなるよう工夫してほしい。

事務局：できるだけ専門用語は使わないようにし、専門用語を使用する際は、注釈を入れるなど配慮したい。

高山委員長：都市計画マスタープランと立地適正化計画について、異論はないか。

委員全員：異論なし。

高山委員長：本計画の公表までのスケジュールを教えてください。

事務局：3月17日（金）に加賀市都市計画審議会の開催を予定しており、4月に本計画の公表を予定している。

7. 委員会の状況

